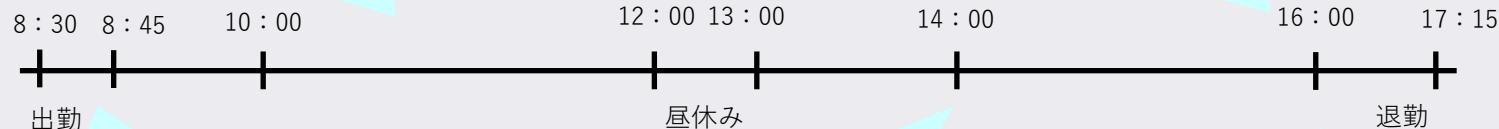


臨床工学技士



医療技術部
臨床工学部門
臨床工学技士
令和 7年 4月 採用

ある1日の
スケジュール



手術室業務
手術室の機器トラブル対応や手術支援ロボット(da Vinci)の準備および操作をしています。



手術室業務
翌日の手術予定を確認し、必要な機材の準備を行います。



CE 朝ミーティング (集中治療室・手術室チーム)

当直者からの申し送りと、1日のスケジュール(業務分担)の確認を行います。夜間の緊急対応や手術予定の変更など、重要な情報が共有されています。

集中治療室業務
急性血液浄化療法を開始する際には、まずブライミングを行い、その後開始操作を実施します。急を要するケースが多いため、常に緊張感を持って取り組んでいます。



リフレッシュ方法
休日は路面電車に乗って出かけるのが最近の楽しみです。県外から引っ越してきたこともあり、窓から見る景色はとても新鮮で、見入っているといつの間にか目的地についています。



現在担当している業務について教えてください

現在、ローテーション教育中で集中治療室・手術室での業務に従事しています。集中治療室ではECMOやCRRTをはじめとした、急性期治療に携わっています。手術室では機器のトラブル対応や、手術支援ロボット、人工心肺などの手術で使用される機器の操作、保守を行っています。

仕事をするうえで心がけていることを教えてください

一番は「コミュニケーション」です。臨床工学技士は院内で唯一の医療機器のスペシャリストであり、生命維持管理装置の操作管理や機器トラブルについて周りから頼られる存在です。一見、機器を相手にしている仕事と思われがちですが、仕事の7割は「人」を相手にしているので、コミュニケーション能力は大変重要だと感じます。

高知大学医学部附属病院の臨床工学技士として働く魅力を教えてください

私は、入職前から臨床工学技士として「様々な業務を行えるジェネラリストになりたい!」と考えていました。そのため、幅広い業務に携わることができ、県内から様々な症例が集まる大学病院はとても魅力的です。

臨床工学技士は、院内の様々なところでいろいろな仕事をしています。そのため覚えることが多いのではないかと不安でしたが、一人でできるようになるまで必ず教育係の先輩が付き添ってください、丁寧に教えてもらうことができます。また、わからないことや気になったこと、疑問があればすぐに質問することができる環境なので、その度に知識が増えていくことがとても楽しいです。

目標とする将来像を教えてください

目標は「ジェネラリストとして活躍する臨床工学技士になること」です。他職種から信頼され、頼りにされている先輩方の姿を見て、私もそのようになりたいと強く感じました。

現在は、ローテーションで各業務を少しずつ習得している段階です。まだまだ学ぶべきことはたくさんありますが、目標に一步でも近づけるよう、日々努力を重ねていきたいと思っています。

部署からのメッセージ

当院の臨床工学部では、新卒・既卒者問わず、一定のレベルに到達できるように技能評価およびローテーション教育を取り入れています。各部署で専門的な知識と技術を多面的に習得できるようにサポートします。

また、今後、タスク・シフト/シェアが推進される中で、臨床工学技士としての役割はさらに重要となります。これからの臨床工学部門の力を高めるためにも、一緒にスキルアップを図っていきましょう。